

(2) 研究開発単位Ⅱ（グループ型探究学習のプログラム開発）

a 研究開発単位の目的、仮説との関係、期待される成果

研究開発単位の目的	「仮説の設定→考察→評価・検証→提言」という流れの探究学習をグループで行わせることにより、批判的思考力・協働的思考力・創造的思考力を培う。
仮説との関係	課題研究において、目的に応じた調査・分析・ディスカッションなどをグループで行わせることにより、能動的に学ぶ姿勢や、自らの強い意志を持ちつつ他者と協力して課題解決に取り組む姿勢を育成できる。（仮説B）
期待される成果	構想調書に記述した育成したい資質・能力のうち「④責任感や協調性などを含むリーダーシップとフォロワーシップ」を育成できる。

b プログラム

(ア) 東志行（生活合宿）におけるアクティブ・ラーニング基礎講座、SGH講演会
グループ型探究学習

c 各プログラムの目的、方法、期待される成果、内容、成果（変容）

(ア) 東志行・グループ型探究学習

対象学年	1年（全員）
実施時期	4月15日（月）～17日（水）
指導者	本校職員
目的	課題研究の概要を把握するとともに、ブレインストーミングとKJ法の手法を学ぶ。さらに、それらの手法を用いて、グループ協議・発表を行い、今後の課題研究の進め方への展望を持たせる。グループでの協働作業を通して、能動的に学ぶ姿勢やリーダーシップを発揮しつつ他者と協働して課題解決に向けて取り組む姿勢を育成する。
方法	○課題研究独自教材「長崎東課題研究ノート」に基づいて、課題研究に関する基礎講座や講演を聴講し、テーマ設定の留意点や研究手法を学習する。 ○ブレインストーミングやKJ法を用いて自ら課題を設定し、課題解決への道筋を論理的に考える。 ○クラスごとにポスター発表を全グループが実施し、課題解決への提言を行う。
期待される成果	責任感や協調性などを含むリーダーシップとフォロワーシップを育成できる。

内容

- 1日目 歌唱指導、集団行動、教頭講話、進路指導部講話、生徒指導部講話、学年主任講話、「後輩へ伝えたいこと」を読む・抱負の記入
- 2日目 学級活動、学級活動、集団行動、SGH講演会（水・医療）、SGH説明、ナガサキタイム
- 3日目 学級活動、集団行動発表会、ナガサキタイム優秀班発表

成果（変容）

今年度もブレインストーミングとKJ法について学習した後、暫定班を編制し、ナガサキタイムの活動を行った。班を暫定としたのは、生徒たちが入学して日が浅く、「国際平和の実現」「医療支援の充実」「水環境の改善」の各テーマについての理解が進んでいないことを考慮した措置であった。活動内容は、①班ごとにブレインストーミングとKJ法を使って共通テーマ「長崎の若者の流出を防ぐには」について話し合い、その内容をポスターにまとめる、②まとめたことをクラスの中でプレゼンテーションを行う、③そのプレゼンをお互いに評価し、クラスの代表班を選出する、

④代表班は最終日に発表会で学年全体に発表する、というものであった。初めての活動ではあったが、どの班も積極的に話し合い、まとめたことを立派に発表していた。

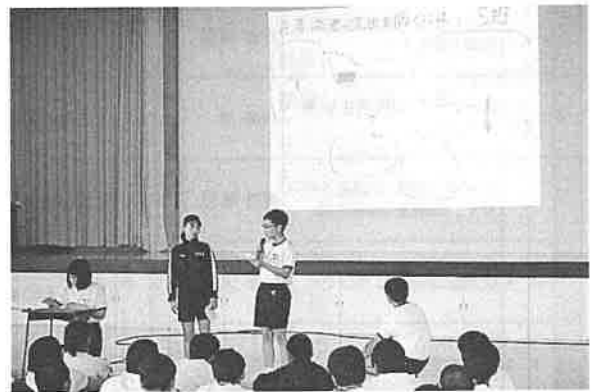
さらに、今年度も長崎県医療政策課と地域環境課から講師を派遣してもらい、「長崎県の医療の現状と課題について」、「長崎県の水環境について」というテーマで講演会を開催した。生徒は演習や講演会を通して、SGHテーマの内容について理解を深めることができ、さらに長崎の現状について深く学ぶことができた。

昨年からの改善点

中間評価において「テーマの一貫性が十分でないように思われる」との指摘があった。また、運営指導委員会では、生徒自己評価項目の「地元長崎に対する興味・関心が高い」に対する肯定的回答の伸びがあまり見られなかった（4月 72.6% → 2月 74.3%）ことが指摘されていた。したがって昨年度は共通テーマを「長崎の離島の人口を増やすには」に一本化したのであったが、離島の状況についてよく知らない生徒も多く、話し合いにくかったという反省を踏まえ、今年度は「長崎の若者の流出を防ぐには」に変更した。また、できるだけ早い段階でSGHのテーマ（平和・医療・水）についての理解を促すために、今年度もSGHの講演会を医療、水の2テーマで実施した。



KJ法による話し合いの様子



クラスの優秀班による全体発表の様子

国際平和の実現			医療支援の推進			水環境の改善					
組	班	テーマ	班長	組	班	テーマ	班長	組	班	テーマ	班長
1	1	1 長崎の特産品じゃがいもを使って飢餓を救う	中村 斗輝矢	1	1	1 スマホによる健康被害は防げるのか	竹川 悠久	1	1	1 貝を使った水質浄化は可能か	岡本 将輝
2	1	2 「食」という面から、日韓関係を緩和することはできるか	辻 伸太郎	2	1	2 これからの長崎の医療費の削減するには	竹馬 拓己	2	1	2 水害時におけるダム対策	山本 佐助
3	1	3 CBB ～貧困家庭を救うために私たちができること～	青木 輝波	3	1	3 食事と寿命の関係性について	今村 泉月	3	1	3 中島川の水質浄化	竹下 太陽
4	2	1 多様な文化をもつ人々がともに生活するためにどのような問題を解決すれば良いか	宮崎 百夏	4	2	1 食物栄養	梅本 美里	4	2	1 身近なもので水質浄化	山崎 渚
5	2	2 文化の違いによる外国人とのトラブルの原因と、その解決方法について	杉本 凱也	5	2	2 災害感染症とその予防	平良 吾生	5	2	2 海水を飲料水にする	福田 悠
6	2	3 客観的な歴史を学ぶことで日韓の問題は解決するのか	釘山 詩帆	6	2	3 離島の医療システム	石橋 泰志	6	3	1 貧酸素水塊について	前田 健斗
7	3	1 子ども食堂で難民の飢えを解消できるか	吉田 麻記	7	3	1 食品乾燥と栄養価の関係は？	中橋 希彩	7	3	2 炭による水質浄化	渡辺 結南
8	3	2 長崎の買い物弱者を救済するには	金巻 凜	8	3	2 肥満の原因と予防	中島 聖哉	8	4	1 洪水の被害を小さくするためには	柴田 匠
9	3	3 発展途上国産の製品を売りやすい環境をつくるには	廣重 果音	9	3	3 蚊の感染症を防ぐために	山口 琉空	9	4	2 水を利用して栄養を補給することは可能か？	中島 唯人
10	3	4 歴史認識の差について	池田 大	10	4	1 家畜の病気による殺処分と生態系の実態	楠本 碧	10	4	3 炭を使って飲み水を作ろう	松園 純音
11	4	1 平和教育について	井家上 知花	11	4	2 長崎の特産品を使って健康な体をつくらう	岡 李奈	11	5	1 農業排水による赤潮は、二枚貝で浄化できるのだろうか	熊 美咲希
12	4	2 貧困対策について	二階堂 杏	12	5	1 食べ物を使って効果的な日焼け対策ができるか	白石 美優	12	5	2 機焼けの認知調査を行い、普及活動を行う	川内 征生
13	4	3 障がい者別	花田 早織	13	5	2 県別の風邪の引きやすさの特徴とその解決策	横田 唯人	13	6	1 私たちの生活が水生生物にどのような影響を及ぼすのか	田崎 遼成
14	4	4 LGBTの人達への認識の違い(国ごと)	日高 裕斗	14	5	3 私たちにもできる歯周病予防はないのか	中野 伶海	14	7	1 ろ過器の安全性といろいろな液体	武次 真
15	5	1 キリスト教におけるLGBTに関する差別の原因と改善	下川 朝陽	15	5	4 汗疱状白癬を予防する中敷きをつくることはできるのか？	小田原 真凜	15	7	2 各家庭で水質浄化は可能か？	松林 更紗
16	5	2 空き家の活用と社会環境の改善で、移民の受け入れは可能か	松田 麗	16	6	1 長崎の離島部の医師不足の問題と原因解明	足立 恵祐	16	7	3 非常時に水を確保することはできるのか？	小川 杏菜
17	6	1 スポーツから差別をなくすためには	寺崎 健大	17	6	2 幼少期の口腔ケアの習慣で虫歯予防はできるのか	今坂 百恵				
18	6	2 難民キャンプは難民問題の解決に繋がるのか	濱崎 陸	18	6	3 長崎の特産品で美容効果を高めることができるのか	細見 萌瑛				
19	6	3 教育環境の整備で貧困は脱せるのか	川上 一花	19	7	1 長崎の子供への医療支援を充実させるためには？	橋爪 凜				
20	6	4 長崎の観光業を見直し、東南アジアからの観光客を増やすには	八木 あかり	20	7	2 インターネットを活用したへき地医療の普及	田端 みのり				
21	7	1 ボランティアを通じた世界平和の意識の向上	野田 悠太	21	7	3 体にやさしいかゆみ止めと蚊を寄せつけない方法とは？	野口 夏子				
22	7	2 音楽を通して平和への関心を高めることができるか	前田 萌花								
23	7	3 長崎の食を通して日本の食文化を知ってもらうには	寺尾 夏生								

GSII (英語)

国際平和の実現 (4班・25名)		水環境の改善 (7班・35名)		医療支援の推進 (4班・20名)	
1	How to approach the new peace education	1	How can we spread the knowledge of parenting to African people?	1	Is it possible to improve through education people's awareness about water in developed countries?
2	To make the society everyone live comfortably without discrimination ~through the Civil Partnership Act (CPA)~	2	Can we improve the efficiency of African agriculture with coffee grounds.	2	Improve the Bad Smell From Household
3	What we can do to solve child labor problems	3	Can we reduce the damage caused by mosquitoes? It's laundry.	3	Can we resolve water shortage with rain water?
4	Local symbiosis type of DEJIMA ~ROHINGYA and NAGASAKI, to realize effective refugee acceptance for both sides~	4	How to improve menstrual problems in developing countries	4	Effect of water quality improvement of river by micro bubble
		5	Prevention of periodontal disease from a food perspective		
		6	LINK CHARM ~ for handicapped society ~		
		7	Let's save the world by using KAMPO		

GS II (日本語)

国際平和の実現 (4班・25名)		水環境の改善 (7班・35名)		医療支援の推進 (4班・20名)	
1	世界の平和教育を取り入れた新たな平和教育を提言する	1	アフリカで子育てに関する知識の普及を行うことができないか	1	教育を用いて先進国の人々の水に対する意識の改善は可能か
2	誰もが暮らしやすい差別の無い世の中に	2	コーヒーカスを肥料として活用することで、アフリカの栄養状況を改善できるか	2	悪臭被害の原因であるヘドロを家庭排水の改善から解決することはできるのか
3	児童労働に従事する子供たちを減らすために、私たちにできることは無いか	3	洗剤を使って感染症を予防しよう	3	水不足を雨水で解決できるか
4	ロヒンギャ難民と長崎、双方にとって有益な難民受け入れの実現	4	発展途上国の月経問題の改善	4	マイクロバブルによる長崎の川の水質改善の効果
		5	歯周病を食の観点から予防しよう		
		6	LINK CHARM ～ハンディキャップレスな社会へ向けて～		
		7	KAMPOは世界を救う～漢方を用いた発展途上国の栄養状態の改善～		

GSⅢ（英語）

国際平和の実現 (5班・24名)		水環境の改善 (4班・17名)		医療支援の推進 (8班・39名)	
1	An Education for Denuclearization by Using the Supplementary Material To Close the Gap of Understanding on the Atomic Weapons	1	EDUCATION on MARINE DEBRIS	1	Let's Get a Rid of Mosquito Larva Using "3L"1~Low cost, Low hundles, Low environmental Impact~
2	An Education for Denuclearization by Using the Supplementary Material to Deepen Understanding	2	To Protect People from Landslide Disaster	2	How to Promote a Smoke Separating System in Nagasaki Shinchi Chinatown
3	Economic promotion using long-term stay program	3	WHETHER WE CAN PREVENT THE SPREAD OF CHOLERA INFECTION THROUGH RAISING THE AWARENESS OF LOCAL PEOPLE	3	The poisonous plastic polluting the ocean
4	Protecting Foreign People Living in Nagasaki from Disaster Get Tough with Disaster to be Kind to Foreign People	4	Make Hanoi a "Zero Emissions City" ~Availability of Sewage Sludge~	4	Promotion of Hygiene at Evacuation Centers: Repelling Flies
5	How Can We Prevent Abuse Against the Elderly?			5	Supporting People with Disabilities after Disasters
				6	Reducing disaster victims' psychological stress by applying natural cures in Southeast
				7	Whether or Not to Go to the Hospital ~Let's Talk with Our Bodies~
				8	A method with citral-alcohol to prevent infectious diseases mediated by ticks in developing countries

GSⅢ（日本語）

国際平和の実現 (5班・24名)		水環境の改善 (4班・17名)		医療支援の推進 (8班・39名)	
1	補助教材を用いた非核教育の方法 ー原爆に関する認識の差を埋めるためにー	1	海洋ゴミ問題への人々の意識を教育的アプローチから高めることは出来るか	1	ボウフラを3Lで駆除しよう～低コスト、低難度、環境への影響を少なく～
2	どのような平和教育が生徒に核兵器の現状に対する理解を深め、核兵器廃絶実現を可能にするか	2	立山を災害から守る	2	長崎新地中華街で分煙を促進する方法
3	長期滞在プログラムを利用した経済促進	3	現地の人々の水への意識改革を通して、コレラの感染症の拡大を防ぐことができるか	3	海を汚染するプラスチック
4	災害から長崎在住の外国人を守る 災害に厳しく外国人にやさしく	4	ハノイを“ゼロエミッションシティ”に ～下水汚泥の利用可能性～	4	避難所での衛生の促進：ハエの忌避
5	高齢者虐待を防ぐことができるか			5	災害時の障がい者支援とは
				6	東南アジアにおける災害被災者の心理的ストレスを自然療法の応用によって軽減できるか
				7	病院に行くか行かないか？ よし、ポティートークしよう
				8	シト랄アルコールを用いたダニが媒介する感染症の予防法